

札幌市立大学における大学広報の方向性（2027 年度～2029 年度）

1. 広報の目的

本学は、2026 年 3 月に札幌市立大学長期ビジョンを策定した。世界が大きな変革期を迎えるなか、専門性と異分野の視点を併せ持つ複眼思考を備え、新たな価値を生み出す人材の育成を目指していく。

また、デザインと看護の連携に、AI・IT、リベラルアーツを結び付け、「創ること」と「分析すること」を往還させながら課題の本質に迫る Arts&Sciences を推進し、北海道・札幌の地域課題から得られた知見を国内外へ発信するとともに、今後グローバルな課題解決に貢献し、時代の先を行く大学となるべく取り組みを進めていくこととした。

また、第四期中期計画（2024 年度～2029 年度）において、大学広報に係る措置として次の内容を掲げている。

本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」に加え、D（デザイン）とN（看護）にA（AI・IT）を掛け合わせた「DNA」連携の取組等を中心とした戦略的かつ効果的な広報活動を展開し、教育・研究・地域貢献の取組やその成果などの大学の価値を、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、市民をはじめ道内、道外にわかりやすく発信し、学生・受験生、市民、企業との接触の機会を増やす。

長期ビジョンに基づいた本学の教育・研究・社会貢献の取組やその成果について、大学の教員・職員、そして学生一人ひとりがステークホルダーのニーズを踏まえて情報発信を行うことで、プレゼンスの向上を図り、市内、道内、道外に対し広く認知されることを本学広報の目的とする。

2. 広報のテーマ

「もっと選ばれる大学のために」

- ・ 「受験生から選ばれる」、「父母や高校の先生から選ばれる」、「企業からも選ばれる」という 3 つの視点で、長期ビジョンに基づく本学の「AI・IT を用いた価値を生み出す人材育成の教育」や、「研究と教育の成果を社会実装し、地域課題解決を図る取り組み」を、パンフレットや Web などのさまざまな媒体を駆使して広く広報していく。
- ・ また、見える広報と共に、AI 時代における「選ばれる」ための入口を確保する広報活動として、SEO や LLMO といった見えない対策も実施していく。
- ・ さらに、札幌市民に対して本学の存在意義や地域への貢献をより広く、深く発信するため、イベント等を活用した周知活動を行う。そうした取り組みにより、参加者や地域企業・関係団体に本学の価値を理解・共感いただき、その魅力を自発的に周囲へ伝えていただけるような広報を目指す。

<参考>

- ・ 第四期中期計画 https://www.scu.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/chuki_keikaku4.pdf
- ・ 長期ビジョン https://www.scu.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/scu_longtemvision2026.pdf